

法人理念	✨キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✨保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✨職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週水曜日15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「衣服」を通して言葉の発達を促す。 役に合った服を着てごっこあそびを楽しみ応答的な言葉のやり取りを楽しむ。また服を着る脱ぐことでボタンやファスナー、ジッパーの開閉、畳む、ハンガーにかける活動も行う。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	<b>戸外に出る時に上着を着るなど、気温の変化に合わせた衣服の調節が出来るようにする</b> ・身に付けてきた衣服などを自分で脱ぎ、畳んでロッカーへ片付ける。 ・上着を着る ボタンをはずす、とめる フォックをはめるなど、身の回りの生活に必要な活動を自分でする。 できないときは「てつだって」を担任に伝える。 <b>感染症予防の観点から手洗いうがいを促し、健康に過ごすことができるようになる</b> ・手洗い、うがいを丁寧に行う。
	運動・感覚	<b>体を動かす気持ち良さを感じる</b> ・洋服屋さんを見に行くために戸外散歩を行う。 ・かがむ、しゃがむ、投げる、跳ぶ、くぐる、くぐり抜ける、這うなどの活動を行う <b>10秒ポーズ</b> ・10秒間動物になりきって静止ポーズを行い、姿勢を保つ <b>手先の巧緻性</b> ・ボタンはめ、ファスナー開閉、ともだちと一緒にわらべうたを行いリズムに合わせて手を動かす。 トレジャーブックづくり（着せ替え人形 塗り絵など）
	認知・行動	<b>身近な衣服の素材に触れる</b> ・夏に着る服・雨の日に着る服・冬に着る服など季節に合わせた服に触れる。 <b>だれかな？だれのかつこうかな？</b> ・役割に応じた服を着る、役になりきってあそぶ。 ・小さい時の服 時間の経過を感じる。
	言語 コミュニケーション	<b>衣服に関する言葉の発達</b> ・スカート、ブラウス、パンツ、ポケット、ジッパー、スナップ、ボタン、靴紐、毛糸、布、裾、襟、留める、結ぶ、大きすぎる、小さすぎる、ぶかぶか サイズなど ・役に応じた服を着てごっこあそびを楽しむ
	人間関係 社会性	<b>ごっこあそびを楽しむ</b> ・洋服屋さんごっこを楽しむ、オシャレする、友だちとイメージを共有し色々なやり取りを楽しみ集団あそびを楽しむ。 ・近所の方とご挨拶をする ・地域の洋服屋へ見学に行き、お店に置いている物を知る。様々な人の衣服を見る。（パン屋、消防署、薬局など）
歌・絵本など	<b>絵本</b> どうすればいいのかな？ わたしのワンピース・あけて、あけてえほんひきだし・ぼくのいろなあに <b>歌絵本</b> 北風小僧の寒太郎・鬼のパンツ ・豆まき・ひなまつり <b>わらべうた</b> てんやのおもち・ひとつひばちで	
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	地域の洋服屋見学、消防署、警察署など	
移行支援	通園している保育園との連携、情報共有を行う	
家族支援	写真公開 2月上旬公開 児童発達支援事業所における自己評価 配布 モニタリング 個別支援計画	
職員の質の向上	・小児高次脳機能障がいについて ・虐待、身体拘束の適正化のための研修 ・性暴力虐待研修 ・あそびな ホンモノ体験、問い「プロジェクト活動」	
主な行事等		